

旭郷土資料館保存繭

～豊田市指定文化財～



豊田市旭地区にある旭郷土資料館には、明治31年から昭和53年までの80年間、旭町生駒学区において行われた繭品評会の優良繭の標本が保管されている。これらは養蚕技術の変遷を知る貴重な資料として、豊田市指定文化財となっている。

■メンデルの遺伝法則を初めて昆虫に応用した蚕の品種改良



明治・大正・昭和の繭標本を比べると、蚕の品種改良で繭が大きくなったことが一目でよくわかる

メンデルの遺伝法則を、世界で初めて動物に応用したのは、日本における蚕の品種改良です。1代交雑種(F1,ハイブリッド)は、両親の優れた性質(病気に強く、よい糸繭が取れる)を合わせ持つことがわかり、明治39年、外山亀太郎(1868～1918)が『蚕種類の改良法』という1代交雑種の論文を発表したのを契機に、蚕の品種改良が急速に進みました。

豊田市旭郷土資料館
豊田市浅谷町下万場 303-2
見学には事前申し込みが必要
豊田市旭支所 (0565-68-2213)